

千九百五年一月二日調印旅順口開城規約附録

第一條

本規約ヲ實行スル爲メ日露陸海軍ニ於テ指定スル委員左ノ如シ

一、本規約第六條ニ関スル委員

艦艇ニ関スル委員  
糧食諸物件ニ関スル委員  
危險物除去ニ関スル委員

二、本規約第八條ニ関スル委員

三、本規約第九條ニ関スル委員

四、本規約第十條ニ関スル委員

第二條

前條ノ諸委員ハ一月三日正午白玉山ノ北麓旅順街道上市街ノ

入口ニ集合シ其擔任ノ事項ノ遂行ニ着手スルモノトス

第三條

旅順口要塞内ニ在ル陸海軍軍人ハ其編制表受領ノ上日本軍

ノ指定スル順序ニ依リ集團ニテ退去シ一月五日午前正九時其

最先頭ヲ以テ鴨湖嘴東端ニ到リ有シ本規約第八條ニ関スル本  
員ノ指示ヲ受クベシ將校及官吏ハ帶劍ヲ許サンベク下士以下ハ  
一切ノ武器ヲ携帶スベカラズ

但シ將校以下一日分ノ糧食ヲ携帶スルヲ要ス

第四條 陸海軍ニ屬セザル露國官吏ハ各職分毎ニ一團トナリ前條ニ示セ

ル諸隊ニ續行スベシ

但シ該官吏中是れ勇兵ニ加ハリクニナキ者ハ宜折言ヲ用セスシテ解  
放ス

第五條

各堡壘砲台、諸建屋、諸倉庫、其他ノ諸物件ノ引渡ヲ執  
行スル爲メ其所在地ニ將校下士卒若クハ其他ノ適當ナル人員若  
干ヲ殘置ス可シ該人員ハ日本庫ヨリ交付シタル徽章ヲ佩用  
セシム

第六條

露國陸海軍軍人義勇兵及官吏ニシテ一月五日午前九時以後  
ニ於テ高ホ兵器ヲ携帶シヌハ指示セラレタル集合場ニ到ルヲ  
止メザル者ハ日本軍ニ於テ適宜處分スベシ

組し病者傷者ハ此限ニアラズ

第七條

本規約第七條ニ示ス陸海軍將校及官吏ノ携行スル私有必要品ハ必西女ト認ムル場合ニ於テ之ヲ檢査且スヘク其量同概テ日本軍將校及所屬官吏ノ爲メ規定セラレタル行李ノ數量ニ準スルモノトス

但シ事情ニ依リ相當ノ斟酌ヲ爲ス

第八條

旅順口在ル陸海軍用病院及病院船ハ日本軍ノ委員ト於テ臨檢スヘク同委員ノ定ムル所ノ取扱法ニ従フベシ

第九條

普通人民ハ各々其堵ニ安スベシ其旅順口ヲ退去セント欲スル者ハ總テノ私有財產ヲ携行スルヲ得

陸海軍將校及官吏ノ家族ミシテ退去セント欲スル者ハ日本軍ニ於テ爲シ得ル限リ便宜ヲ與フ可シ

第十條

旅順口要塞内ノ在任者ミシテ日本軍ニ於テ其退去ヲ必要ト認メタルモノハ同軍ノ指定スル時期及通路ニ由リ退去セシム

第十條 本規約第十條ニ示ス露國委員ハ行政並ニ會計ニ関スル既  
往及現在ノ狀況ヲ日本委員ニ告知シ且之ニ関スル一切圖書  
及公金ニ同委員引渡スベシ

第十條 旅順口ニ在ル日本軍ノ俘虜ハ一月三日午後三時ニ於テ本規約

第九條ニ示ス日本軍委員引渡ス可シ

正本ニ通シ作り各僱全権ニ於テ署名ス

千九百五年十一月二日 水師提督ニ於テ

攻圍軍參謀長 陸軍少將 伊地知幸介

海軍中佐 岩村團次郎

關東州要塞地區參謀長 陸軍大佐 ライス

海軍大佐 セスノウイツチ

0630